

ステップ1-3

【指導上のワンポイントアドバイス】

☞ 日常生活の場面を取り上げながら、その言葉の使い方を具体的にイメージさせるとよい。また、イラストや写真を見せたときに、「分かりますか。」と尋ねると、前時の復習になる。

	サバイバル日本語(会話表現) 20分	文 字 ・ 語 彙 20分	対話の時間 (必要に応じて)
--	-----------------------	------------------	-------------------

目 標	「好き／好きじゃない」「分かる／分からない」の言葉を理解している。	自分の名前を書いている。 また、「保健室」という言葉を理解している。	母国語を使って、自分のことを伝えている。
-----	-----------------------------------	---------------------------------------	----------------------

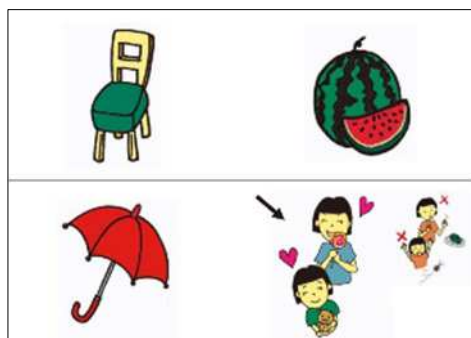
学習内容	「好き・好きじゃない」 「分かる・分からない」	名前の読み方・書き方 学校内の施設「ほけんしつ」	・好きなこと
------	----------------------------	-----------------------------	--------

主な流れ	①好きそうなもの(お菓子・アニメなど)と、好きではなさそうなもの(ムカデ・ゴキブリなど)のイラストや写真を見ながら、教師の「私は～が好きです。／好きではありません。」という説明を聞く。 ②①のイラストや写真を見ながら、教師からの「好きですか。」という質問に答える。 ③イラストや写真のカードを見ながら、教師に好きかどうか尋ねたり答えたりする。	①自分の名前の読み方・書き方の練習をする。 ②学校の「保健室」の写真を見て、「ほけんしつ」という言葉を繰り返し発音する。 ③保健室は、どんな時に使う場所なのかを、イラストや写真、ジェスチャーを見ながら理解する。 例) けがをしたとき 体が痛いとき	①タブレット端末の検索機能や翻訳機能等を使って、イラストや写真を見せながら、自分の好きなものを紹介したり、教師とやり取りをしたりする。 ②様々なテーマを決めて、教師と紹介し合う。 例) キャラクター アニメ 歌 食べ物 家族
------	--	---	---

使用教材例等

・「ことばとおぼえる ひらがなワーク 絵カード」
(愛知教育大学 外国人児童生徒支援リソースルーム)

https://resource-room.nihongo.aichi-edu.ac.jp/wp-content/uploads/2021/01/kotoba_card.pdf



・学校の保健室の写真の例



ステップ1-6

【指導上のワンポイントアドバイス】

言葉を教えるときは、教師の口元を指さしながら、ゆっくり、はっきりと発音して、口や舌の使い方を見せるとよい。

	サバイバル日本語(会話表現) 20分	文 字 ・ 語 彙 20分	対話の時間 (必要に応じて)
目 標	「ある／ない」、「良い／だめ」の言葉を理解している。	文房具、持ち物の言葉を理解している。	母国語を使って、自分のことを伝えている。
学習内容	・「ある／ない」 ・「いい／だめ」	・文房具・持ち物「定規」「筆箱」「下敷き」	・好きなこと
主な流れ	①日常生活で禁止されていることを表すイラストや写真を見て、しても良いこととダメなことを判断し、答える。 例)・机の上に足を置く ・図書館で大声で話す ・赤信号のときに道を渡る ②箱の中に鉛筆や消しゴムが入っているか考え、あるかないかを答える。 ③食べ物や普段使うようなもの(イラストや写真)を机の引き出しに入れながら、あるかないかを答えるゲームをする。	①ノートや学習プリントに、自分の名前を書く。 ②鉛筆や消しゴムなどの文房具を見て、それが何かを答える。 ③定規や筆箱など、新しく学ぶ文房具の実物を見て、その名前を聞いて理解する。 ④教師に続いて、定規や筆箱など、新しく学ぶ文房具の言葉を口頭練習する。 ⑤新しく学ぶ文房具を使って、ものの名前を答えるゲームをする。 A:「(ものの一部を見せ)これは何ですか。」 B:「えんぴつ。」	①タブレット端末の検索機能や翻訳機能等を使って、イラストや写真を見せながら、自分の好きなものを紹介したり、教師とやり取りをしたりする。 ②様々なテーマを決めて、教師と紹介し合う。 例)キャラクター アニメ 歌 食べ物 家族

使用教材例等

・日常生活で禁止されていることを表すイラストや写真の例



・「みえこさんのにほんご」((公財)三重県国際交流財団作成)名詞の絵カード100

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001030832.pdf>



ステップ2-15

【指導上のワンポイントアドバイス】

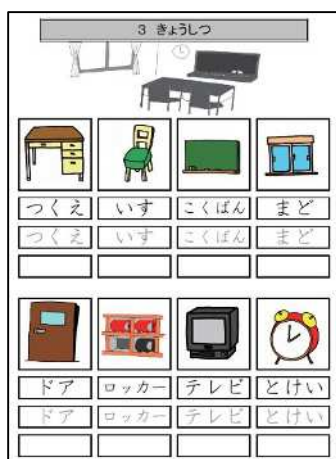
カードやカレンダー、実物などを使ったり、歌やゲーム、動作化などをしたりして、言葉を楽しく覚えることができるようにする。

	サバイバル日本語(会話表現) 10分	文 字 ・ 語 彙 25分	算数につながる日本語 5分
目 標	曜日の言い方を理解している。	ひらがな「か」行の読み方を理解している。また、「窓・ドア」という言葉を理解している。	6～10の数字を理解している。
学習内容	「なんようび?」	・ひらがな「か行」 ・教室内の物「窓・ドア」	・かず①「6～10」読み方
主な流れ	①指し示されたカレンダーの曜日を見ながら、順に「日曜日、月曜日、…」と、教師に続いて言う。 ②「日、月、火、水、木、金、土」の流れを口頭練習する。 ③在籍学級の時間割を見ながら、教師とやり取りする。 例:「火曜日、算数、ある?ない?」「図工、水曜日?木曜日?」「体育、何曜日?」など	①ランダムに出されたひらがな「あ」行のカードを見て読む。 ②指し示されたひらがな五十音表の「か」行を一文字ずつ読む。 ③教師の筆順を見ながら、一文字ずつ指でなぞる。 ④イラストを見ながら、「か」行の文字を含んでいる身近にある言葉を学ぶ。 例:かばん、つくえ、こくばん ⑤窓やドアのところへ行き、教師に続いて、「まど」「ドア」の言葉を言う。	①机の上に並べられた数字のカードを見て、「ろく」と聞いた後に、「6」のカードをタッチする。 ②6から順にカードを見ながら、数字を答える。順に言えるようになったら、カードをランダムにして答える。

使用教材例等

・「たのしくおぼえる ことばワーク」(愛知教育大学 外国人児童生徒支援リソースルーム)

<https://resource-room.nihongo.aichi-edu.ac.jp/wp-content/uploads/2021/01/kotobawork.pdf>



・「ゆびなぞりカード ひらがな」(くもん出版)



・「みえこさんのにほんご」((公財)三重県国際交流財団作成) れんしゅうちょう!

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001028288.pdf>



・カレンダー

※YouTube で「日本語 ようび うた」等と検索することで、曜日に係る歌を聞くことができます。

ステップ3-35

【指導上のワンポイントアドバイス】

- ・「これ、好き？」など、これまでに学習した言葉を使いながら進める。また、絵や文字を指で示しながら発音する。
- ・「好き」「嫌い」が話題のときには、表情豊かに伝える。

	サバイバル日本語(会話表現) 10分	文字・語彙 20分	算数につながる日本語 10分
--	-----------------------	--------------	-------------------

目 標	「食べる／飲む」「高い／低い」という言葉を理解している。	既習の言葉をひらがなで書いている。また、飲み物の言葉を理解している。	時計を見て、「〇時」と読んでいる。
-----	------------------------------	------------------------------------	-------------------

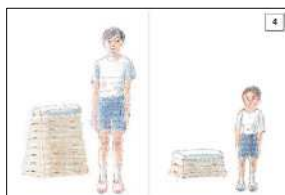
学習内容	・(形) 高い／低い ・(動) 食べる／飲む	・ひらがなの復習 (位置の言葉を書く) ・飲み物②	・とけい②
------	---------------------------	---------------------------------	-------

主な流れ	①イラストや写真を見て、食べるもの(食べないもの)や飲むもの(飲まないもの)についての教師の話聞く。 ②自分自身のことについて、「食べる／食べない」「飲む／飲まない」を使って教師に伝える。また、話した内容を書く。 ③イラストや写真を見て、2つのものを比べながら、「高い」「低い」の言葉を聞いて理解する。 ④教室から見えるものについて「高い／低い」を使って、教師に伝える。	①イラストや写真を見て、「うえ・した・みぎ・ひだり・まんなか」を、教師に続いて、指で指し示しながら言う。 ②教室の中にあるものについて、「うえ・した・みぎ・ひだり・まんなか」を使って位置を表現する。 ③イラストや写真を見て、飲み物の言葉を、教師に続いて言う。 ④イラストや写真を見て、「～を飲む／飲まない」と教師に伝える。	①数字の表を見て、「1～30」まで指で示しながら読む。 ②「とけい②」のプリントを見ながら、教師に続いて読む。 ③「とけい②」のプリントに、「〇時」と言いながら時刻を書く。
------	---	---	---

使用教材例等

- ・「みえこさんのにほんご」((公財)三重県国際交流財団作成)形容詞の絵カード50

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000055141.pdf>



- ・「日本語指導ハンドブック」(東京都教育委員会 HP) デジタルブック 日本語指導事例集ワークシート p.7

<https://www.spt.metro.tokyo.lg.jp/kyoiku/staffic/dbook/japanese/#page=1>



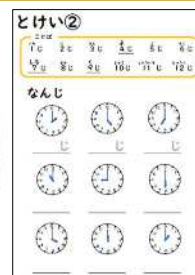
- ・「日本語初期指導で役立つ さんすうワークシート」(岐阜県教育委員会 HP) とけい②

<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/390019.pdf>



- ・「日本語学級1」(凡人社)
- 23「みぎ・ひだり・まんなか」
- 24「した・うえ」
- 29「たべる・のむ」

- ・「外国人の子どものための日本語 こどものにほんご①」(ひょうご日本語教師連絡会議 子どもの日本語研究会 著、出版社 スリーエーネットワーク) 絵チャート p.218「たべもの・のみもの」



ステップ4-37

【指導上のワンポイントアドバイス】

☞ 体に係る名称については、絵カードやプリントなどを使って言葉の意味を確かめた後、実際に会話に取り入れたり、自分の体で確かめたりするとよい。

	サバイバル日本語(会話表現) 10分	文 字 ・ 語 彙 15分	算数につながる日本語 15分
目 標	「おいしい／まずい」という言葉を理解している。	濁音「が行」を理解している。また、体の部位の言葉を理解している。	たしざんに必要な言葉を理解している。
学習内容	(形)おいしい／まずい	濁音 が行(例:かぎ) 体の名前「かお・め・はな」	・たしざん⑤
主な流れ	①絵カードを見て、「おいしい／まずい」の言葉の意味を理解する。 ②絵カードを指で示しながら、口頭練習をする。 ③「おいしい／まずい」の言葉を使って、教師とやり取りをする。	①濁音「が行」が入った言葉を読む。 ②濁音「が行」が入った言葉をプリントに書く。 ③プリントの絵を指しながら「かお・め・はな」の言葉を覚える。 ④自分の体で場所を確かめる。	①たしざんに必要な言葉を確認する。 ※ ^{たす} は +、=、しき、こたえ ②計算をする。 (たしざん⑤) 1番～10番まで) ③答え合わせをする。 ④たしざん言葉を使って式を読む。

使用教材例等

・「外国人の子どものための日本語 こどものにほんご①」絵カード
(ひょうご日本語教師連絡会議 子ども日本語研究会 著、出版社 スリーエーネットワーク)



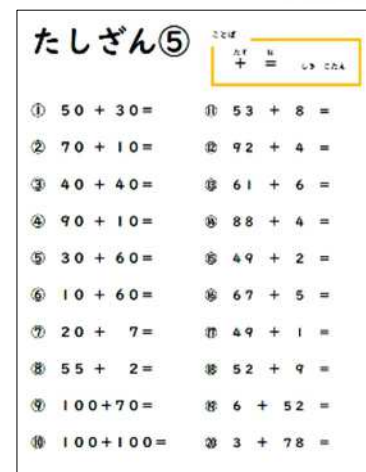
・「日本語学級①初級必修の語彙と文字」(凡人社)
・「ことばとおぼえる ひらがなワーク」
・「たのしくおぼえる ことばワーク」
(愛知教育大学 外国人児童生徒支援リソースルーム)

<https://resource-room.nihongo.aichi-edu.ac.jp/wp-content/uploads/2021/01/hiraganawork.pdf>



・「日本語初期指導で役立つさんすうワークシート」(岐阜県教育委員会 HP)
たしざん⑤

<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/390014.pdf>



【指導上のワンポイントアドバイス】

ステップ5-49

☞動作を表す言葉については、動作化や、自身の生活場面と時刻をつなげて表現する活動を取り入れ、理解を促す。また、似ているひらがなとカタカナ（「か」と「力」）を取り上げながら、カタカナの読み書きの習得を図る。

	サバイバル日本語(会話表現) 10分	文字・語彙 15分	算数につながる日本語 15分
--	-----------------------	--------------	-------------------

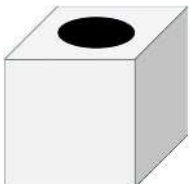
目 標	「起きる」「寝る」という動作を表す言葉を理解している。	カタカナ「ア行」のつく言葉を読んだり書いたりしている。	「〇時」、「〇時半」の時刻を読んでいる。
-----	-----------------------------	-----------------------------	----------------------

学習内容	・(動) 起きる／寝る	・カタカナ「ア行」	・とけい③
------	-------------	-----------	-------

主な流れ	①絵カードを見て、動作の言い方を練習する。 ※絵カードを見て、言葉で表現した後、実際に動作を加える。 ②ひらがなで「おきる」「ねる」などが書かれたカードが入っている箱の中から、1枚言葉カードを引いた後、そのカードに書かれた言葉を読んだり、動作したりする。 ③相手がカードを引いて、その動作を行い、児童は、その動作を見て、何の動作かを当てる。	①「ア・イ・ウ・エ・オ」の学習プリントを使って読み書きの練習をする。 ※既習のひらがなの文字と音声を想起しながら取り組む。 ②「ア・イ・ウ・エ・オ」を含む言葉を表すイラストをカードに描く。また、イラストの下にカタカナで、そのイラストが表している言葉を書く。 ※作成したカードは、かるたゲームに活用することができる。	①時刻の読み方「〇時半」を練習する。その際、4時（よじ）、7時（しちじ）、9時（くじ）の言い方は、数字の言い方と比較しながら、繰り返し練習する。 ②時計または時計のイラストや絵カードを見て時刻を言う。 ③「わたしは、〇時（〇時半）に起きる（寝る）。」と言いながら、起きる時刻、寝る時刻について、1日のスケジュール表に書き込む。
------	---	---	--

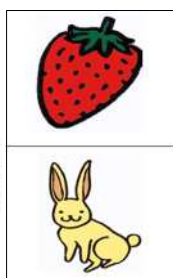
使用教材例等

・絵カードを入れる箱



・「ことばとおぼえる ひらがなワーク絵カード」(愛知教育大学 外国人児童生徒支援リソースルーム)

https://resource-room.nihongo.aichi-edu.ac.jp/wp-content/uploads/2021/01/kotoba_card.pdf



・「日本語指導ハンドブック」(東京都教育委員会HP) デジタルブック 日本語指導事例集ワークシート pp.36-38

<https://www.spt.metro.tokyo.lg.jp/kyoiku/static/dbook/japanese/#page=1>



・「みえこさんのにほんご」((公財)三重県国際交流財団作成) 動詞絵カード100

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000055236.pdf>



・「みえこさんのにほんご」((公財)三重県国際交流財団作成) れんしゅうちょう

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001028288.pdf>



・デジタル時計
・1日のスケジュール表
・カタカナワークシート (ひらがなカタカナ学習アプリケーション「がんばってかな」国際大学)

ステップ5-60

【DLAとは】

子どもたちの言語能力を把握すると同時に、どのような学習支援が必要であるかを検討する際の参考となるよう、文部科学省によって作成された対話型アセスメントである。「話す」「読む」「書く」「聴く」の4つの言語技能の評価を行う前に、導入として＜はじめの一步＞を行う。

目的	①今後の伸びの予測や、指導方針を検討する際の参考とするため、児童生徒の言語能力（本時は語彙力チェックに限定）、言語環境、生活環境を把握する。 ②テストの実施過程そのものも、学びの機会として捉える。
----	---

学習内容	DLA＜はじめの一步＞ 「導入会話」「語彙力チェック」 20分	文字・語彙の復習 20分
------	---------------------------------------	---------------------

主な実施の流れ	実践ガイドに従って、DLA＜はじめの一步＞の「導入会話」「語彙力チェック」を行う。 ※児童の実態に応じて、この後に「話す（基礎タスク）」に進むことができる。 【実施の際の留意事項】 ・初めに、分からないときは「分かりません。」と言ってよいことを伝える。 ・自然な速さで会話を進める。間違えても、遮ったり、否定したり、訂正したりしない。 ・質問は、3回までは繰り返してよい。 ・チェックや診断は、児童の前で行わない。	既習の文字・語彙の確認を行う。 【語彙の確認】 活動1 教師の言った言葉を聞いて、机の上に並べられた絵カードを取る。 【文字の確認】 活動1 ひらがなで書いたカードの文字を読む 活動2 教師が提示した文字カードを見て、それが指す絵カードを取る。 活動3 教師が言った言葉を聞いたり、絵カードを見たりして、物の名前などをひらがなで書く。
---------	--	--

DLAに関する留意事項等

【事前準備】手順を事前に読んでおく。

「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA」pp.15-22
第2章「DLA＜はじめの一步＞概要」

【当日準備】

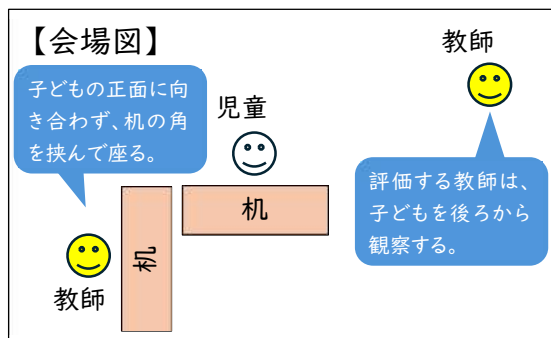
「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA」

- ・実践ガイド（導入会話）p.18
- ・実践ガイド（語彙力チェック）p.19
- ・診断シート（導入会話）p.20
- ・診断シート（語彙力チェック）p.21
- ・語彙カード（番号順に）pp.149-155

「録音機器」
「評価者用のメモ用紙」

【実施者】

進行担当とシートへのチェック担当2名（1名の場合は、児童生徒の前でチェックせず、事後に録音したもので診断する。）



【ダウンロード】文部科学省 HP より

「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA」

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/1345413.htm



【DLA 実施の仕方の関連動画】youtube.com より

〔東京外国語大学〕01「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA」概要

<https://www.youtube.com/watch?v=f8QChp2FdLM>

〔東京外国語大学〕02『外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA』はじめの一步

<https://www.youtube.com/watch?v=0fQAv2YWSCU>

〔東京外国語大学〕03『外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA』話す

https://www.youtube.com/watch?v=CTIB_ZQDFw